インクジェットプリンタ JV400LX シリーズ

日常のお手入れのお願い

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。
より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

⚠ ご注意

	お手入れの際は必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。
	インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面、ヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどに、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。
	本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間使用（出力）しないときは、充填するインク種によって定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。 長時間使用しないときは、本機の［ホカンセンジョウ］機能（取扱説明書　4章「長期間使用しない場合」）を実行してから、前面の電源スイッチのみを OFF にしてください。右側面の主電源スイッチは ON（｜の状態）およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	本機を絶対に分解しないでください。感電、火災および破損の原因になります。
	本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電、火災および破損の原因になります。
	お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
	ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質、変形する恐れがあります。
	本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。

1. 設置環境

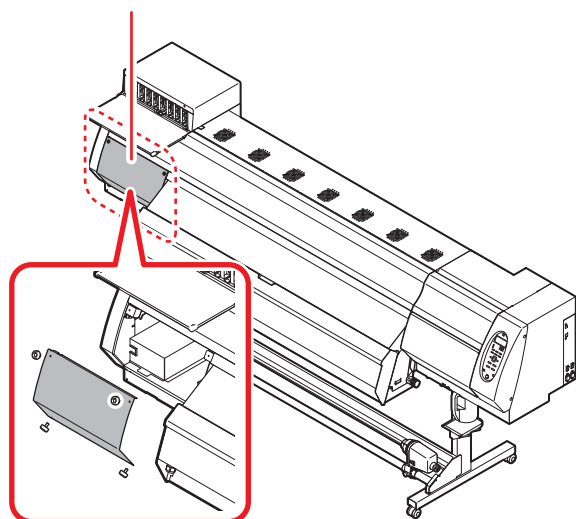
- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 使用環境は、+20 ～ +30 ℃、35 ～ 65% Rh です。これより低温湿 / 高温湿でのご使用は避けてください。

2. 日常のお手入れ

● お手入れに必要な道具

品　名	品　番
クリーンスティック	SPC-0527
メンテナンス洗浄液 LX キット	ML001-Z-K1
ワイパーキット 400	SPA-0184
キムワイプ S-200	SPA-0207

● ヘッド周辺（取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」）

ヘッド周辺は、本機の中で最も汚れがたまりやすく、本機の動作やプリント結果に影響を及ぼす恐れのある個所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。

1 キャリッジを左へ移動させる

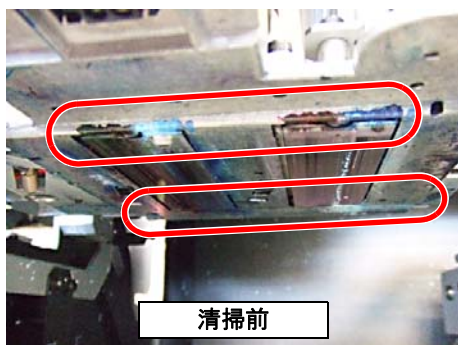
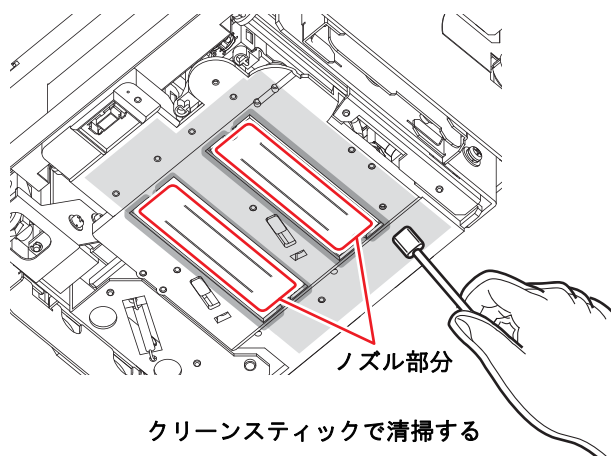
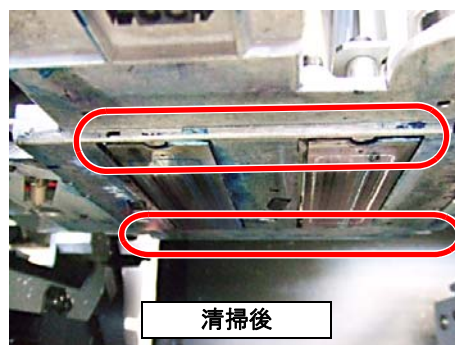
・取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」手順 1 を参照して移動させます。

2 メンテナンスカバーを開ける

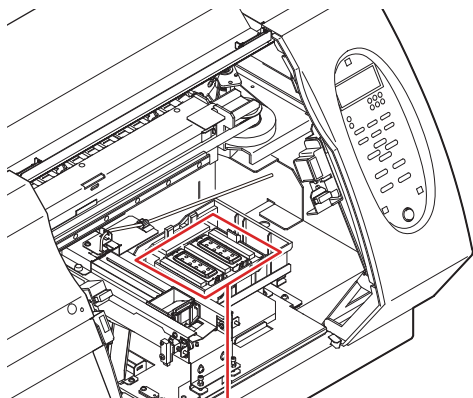
・ネジを外し、メンテナンスカバーを開けます。

3 ヘッド周辺を清掃する

・スライダ下部（下図グレー部分）、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがあります。
・キャリッジ前・後面にゲル状・固形のインクカスが溜まらないように、クリーンスティックなどでこすり落としてください。この際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

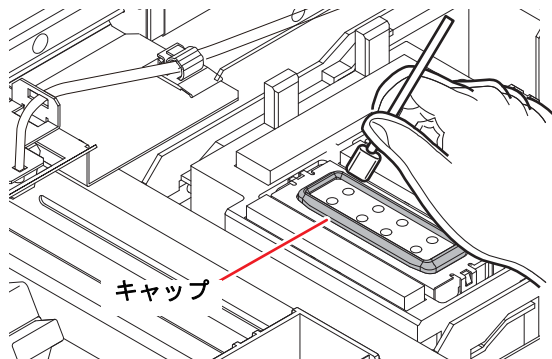
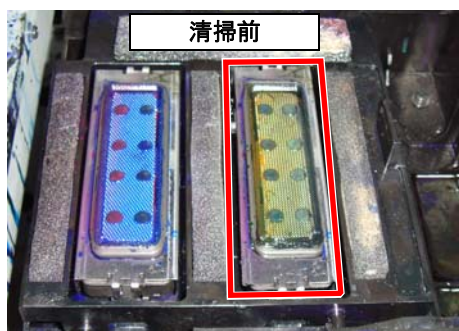
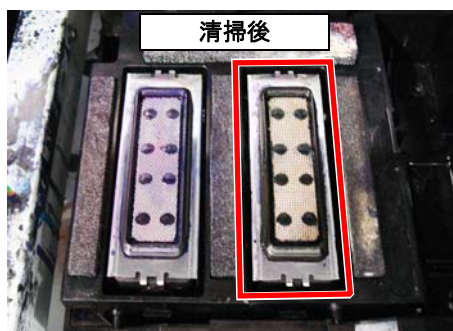
クリーンスティックで清掃する

● キャッピングステーション（取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」）

キャップ周辺も、ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液 LX を使用し、ヘッドに汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

- メンテナンス洗浄液 LX キット (ML001-Z-K1)

1 キャリッジを移動させる

・取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1 を参照して移動させます。

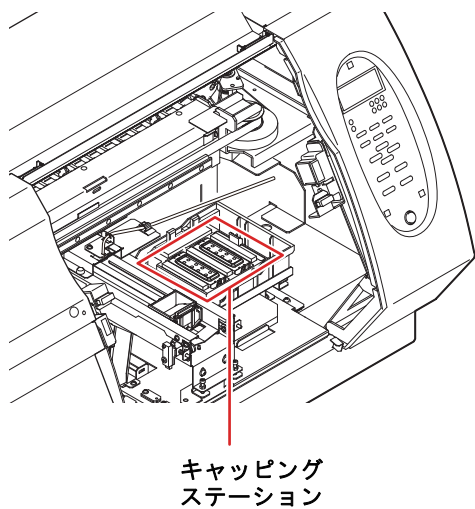
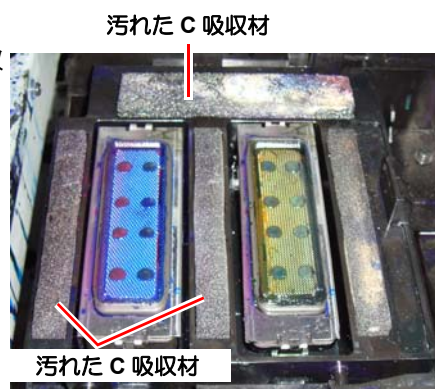
2 キャップを清掃する

・クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 LX を含ませ、キャップゴムの色が見えるように拭き取ります。メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。

重要!

- ここでは、キャップゴムのみを清掃します。キャップ内メッシュは清掃しないでください。
  「ハイロセンジョウ」を定期的 (1 週間に 1 回) 実施し、キャップ内メッシュの洗浄をしてください。（「取扱説明書」4 章参照 ）

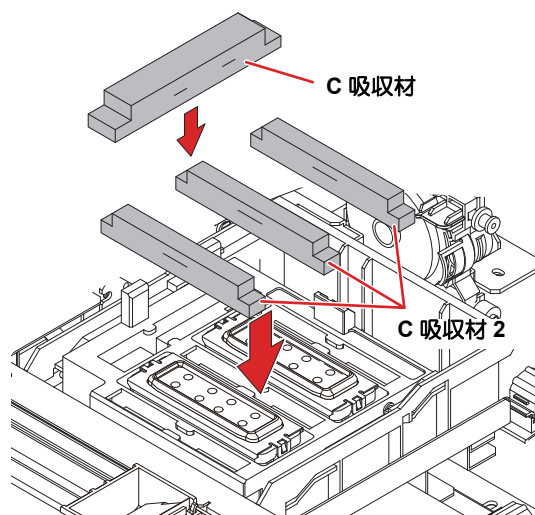
●C 吸収材の交換（取扱説明書 4 章「C 吸収材の交換方法」）

キャップ周辺にある C 吸収材にインクの固着汚れがある場合は、C 吸収材の交換が必要です。

交換の目安 ：右図のように吸収材表面の凹凸がインクで埋まったら交換をお願いします。

1 キャリッジを移動させる

・取扱説明書 4 章「C 吸収材の交換方法」手順 1 ～ 4 を参照して移動させます。

2 右メンテナンスカバーを開ける

3 C 吸収材を交換する

● ワイパー（取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」）

ワイパーには、インク、ホコリおよび紙粉などがたまります。安定したプリント品質を保持するため、1 日の作業が終わったらワイパーの洗浄をしてください。

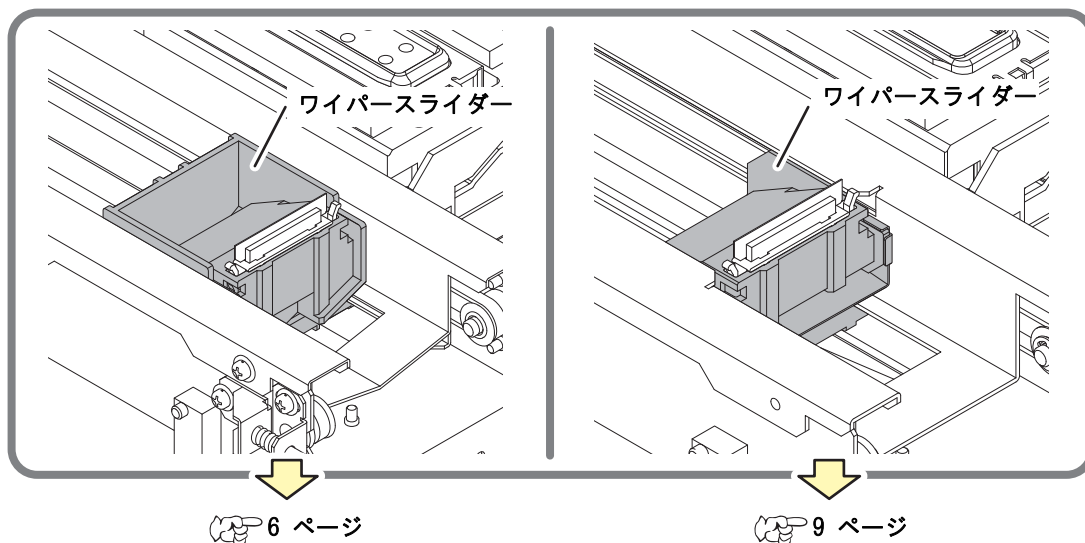
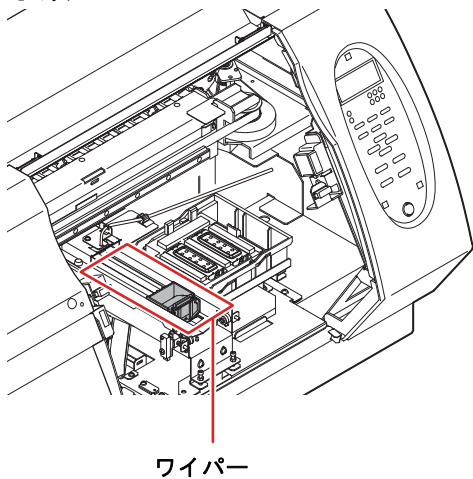
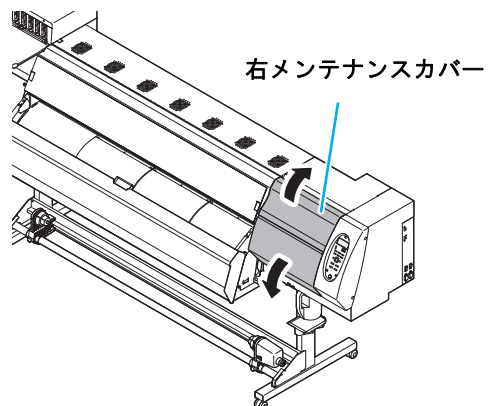
- メンテナンス洗浄液 LX キット（ML001-Z-K1）
- キムワイプ®(SPA-0207)

重要！

■ワイパー清掃では､1 ～ 24 時間ワイパーをメンテナンス洗浄液 LX に浸した後、ワイパーフィルム先端部に固着したインクが無い状態になるまで十分に清掃してください。ワイパーを 2 つ以上用意し、交互にお使いになることをお勧めします。

■ワイパーの清掃が不十分だとノズル詰まりの原因となります。

■ワイパーの洗浄はキムワイプ®(SPA-0207) 以外のもので行わないでください。ワイパーに繊維クズが残ることがあります。

■ワイパー周辺の形状が変更になりました。
お使いの装置のワイパスライダ形状を確認し、形状に合ったお手入れ方法を行ってください。

6 ページ

9 ページ

手順 1

ワイパー

1 キャリッジを移動させる

・取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1 を参照して移動させます。

2 右メンテナンスカバーを開ける

3 ワイパーを取り外す

・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

4 付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器（ガラスや陶器など）に 1 日使用したワイパーを入れ、メンテナンス洗浄液 LX を浸す

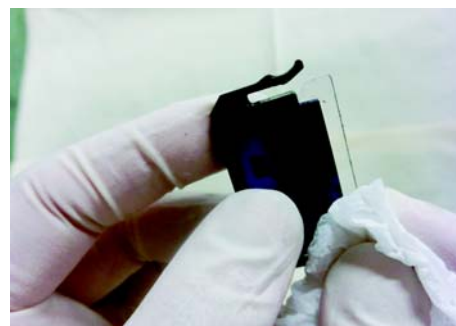
・ワイパーを浸す時間は 1 時間～ 24 時間を目安にしてください。

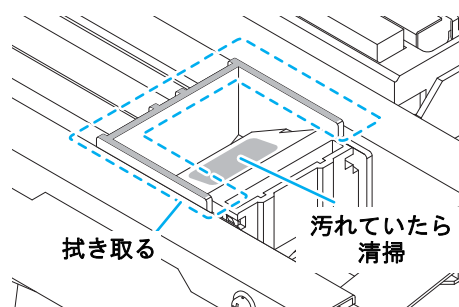
- ワイパーを長時間メンテナンス洗浄液 LX に浸したままにすると、ワイパーが変形する恐れがあります。
- ワイパーをつけ置きするメンテナンス洗浄液 LX は、汚れがひどくなったら交換してください（1 週間程度が目安になります）。また、汚れたメンテナンス洗浄液 LX の廃棄は、産業廃棄物処理業者に依頼してください。
- ワイパーをつけ置きする容器は、付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器をお使いください。お手持ちの樹脂製容器を使ってワイパーをつけ置きしたい場合は、つけ置きをする前に容器にメンテナンス洗浄液 LX を入れて、容器が変形するなどの問題がないかテストを実施してください。

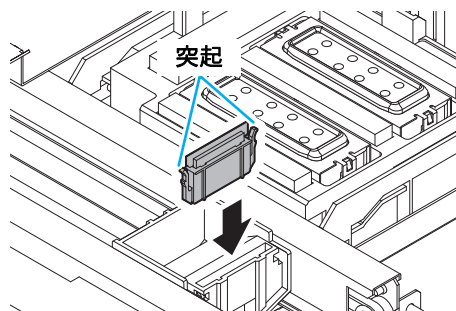
つけ置き開始時

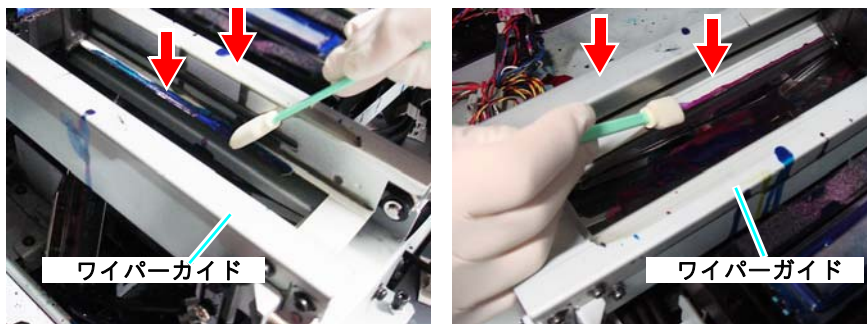
つけ置き終了時

5 ワイパーを取り出し、キムワイプ® でインク汚れなどを取り除く

・ワイパーフィルム先端部に繊維クズなどが残らないように拭き取ってください。

6 ワイパースライダーを清掃する

・ワイパースライダーのフチに付着したインクを、メンテナンス洗浄液 LX を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
ワイパースライダー中の斜めになっている部分も、汚れていたら清掃します。
メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。

7 ワイパーを元の位置に戻す

・ワイパーの両端を持って差し込みます。

8 ワイパー周辺を清掃する

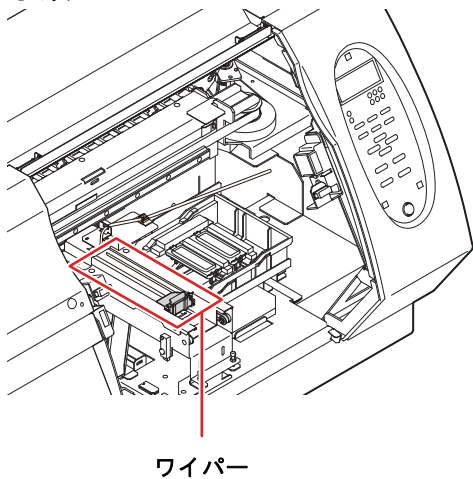
·クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 LX を含ませ、ワイパーガイド上部、一段低い部分を拭き取ります。

ワイパーガイド上部、一段低い部分

また、次のような場合は、取扱説明書 4 章 「 ワイパーを交換する」にしたがって、新品のワイパー (ワイパーキット 400 : 品番 SPA-0184) と交換してください。

- ワイパーを十分にクリーニングをしても、ノズル詰まり等が頻繁に発生する場合
- ワイパーが変形している場合
- 固着したインクが拭き取れない場合
- ワイパー交換のワーニングが表示された場合

新品ワイパー　　交換が必要なワイパー

■ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。

手順 2

1 キャリッジを移動させる

・取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1 を参照して移動させます。

2 右メンテナンスカバーを開ける

3 ワイパーを取り外す

・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

4 付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器（ガラスや陶器など）に 1 日使用したワイパーを入れ、メンテナンス洗浄液 LX を浸す

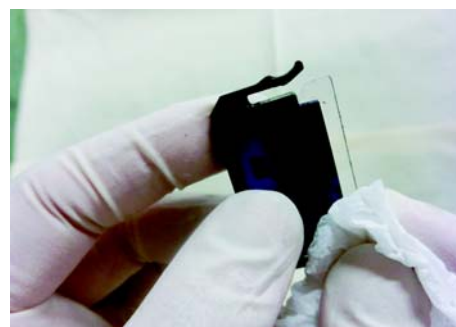
・ワイパーを浸す時間は 1 時間〜 24 時間を目安にしてください。

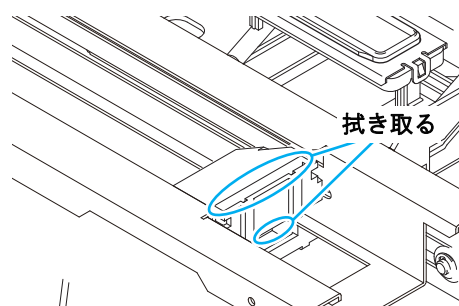
- ワイパーを長時間メンテナンス洗浄液 LX に浸したままにすると、ワイパーが変形する恐れがあります。
- ワイパーをつけ置きするメンテナンス洗浄液 LX は、汚れがひどくなったら交換してください（1 週間程度が目安になります）。また、汚れたメンテナンス洗浄液 LX の廃棄は、産業廃棄物処理業者に依頼してください。
- ワイパーをつけ置きする容器は、付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器をお使いください。お手持ちの樹脂製容器を使ってワイパーをつけ置きしたい場合は、つけ置きをする前に容器にメンテナンス洗浄液 LX を入れて、容器が変形するなどの問題がないかテストを実施してください。

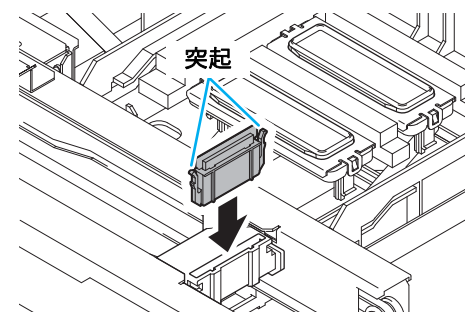
つけ置き開始時

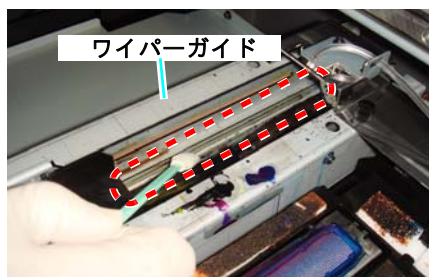
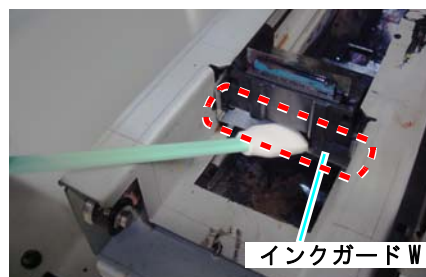
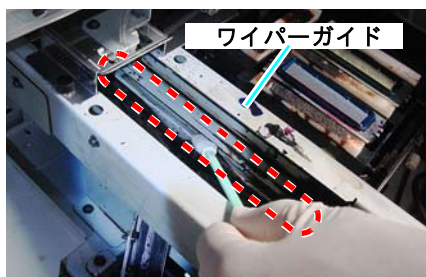
つけ置き終了時

5 ワイパーを取り出し、キムワイプ® でインク汚れなどを取り除く

・ワイパーフィルム先端部に繊維クズなどが残らないように拭き取ってください。

6 ワイパースライダーを清掃する

・ワイパースライダーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液 LX を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。

7 ワイパーを元の位置に戻す

・ワイパーの両端を持って差し込みます。

8 ワイパー周辺を清掃する

·クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 LX を含ませ、ワイパーガイド下部の隙間部分、ワイパースライダーとインクガード W の間を拭き取ります。

ワイパーガイド下部の隙間部分

ワイパースライダーと
インクガード W の間

また、次のような場合は、取扱説明書 4 章 「 ワイパーを交換する」にしたがって、新品のワイパー (ワイパーキット 400 ： 品番 SPA-0184) と交換してください。

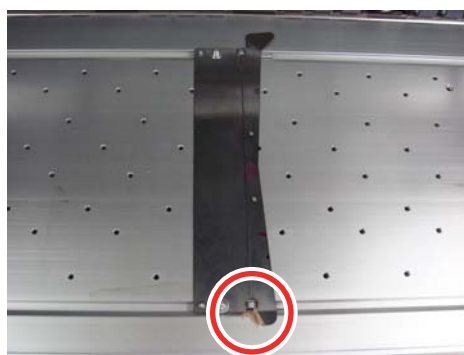
- ワイパーを十分にクリーニングをしても、ノズル詰まり等が頻繁に発生する場合
- ワイパーが変形している場合
- 固着したインクが拭き取れない場合
- ワイパー交換のワーニングが表示された場合

新品ワイパー　　交換が必要なワイパー

■ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。

● メディア押さえ

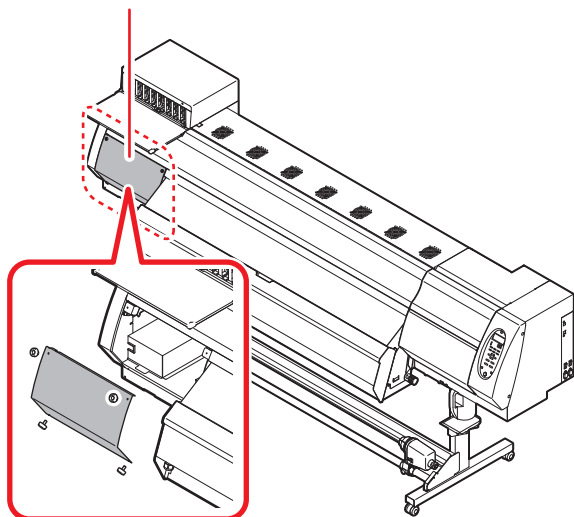
メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまると、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常なプリントができなくなる恐れがあります。こまめに清掃してください。

メディア押さえ

メディア押さえにほこりがついた状態

● メディアセンサー（取扱説明書 4 章「メディアセンサーの清掃」）

センサーは、本体背面のプラテン上と、ヘッド底面の 2ヶ所あります。

センサーにホコリやインクが付着すると、メディアの誤検知の原因になります。柔らかい布や綿棒でふき取ってください。

■センサーの清掃には、溶剤は絶対にお使いにならないでください。
■汚れが激しいときは、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

ヘッド底面のメディアセンサーを清掃する

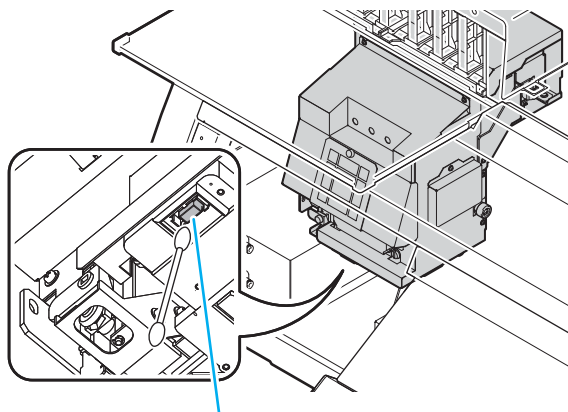
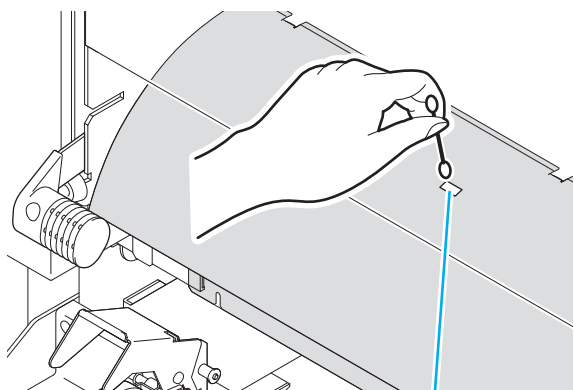
1 キャリッジを左へ移動させる

・取扱説明書 4 章「ヘッド周辺を清掃する」手順 1 を参照して移動させます。

2 メンテナンスカバーを開ける

・ネジを外し、メンテナンスカバーを開けます。

3 メディアセンサーを清掃する

・柔らかい布や綿棒を使ってホコリや付着したインクを拭き取ります。

装置背面のメディアセンサーを清掃する

柔らかい布や綿棒を使ってホコリや付着したインクを拭き取ります。

● プラテン（ 取扱説明書 4 章「プラテンの清掃」）

プラテンは、ホコリ、紙粉、インク汚れが付着しやすい場所です。こまめに清掃してください。
柔らかい毛のハケや乾いた布で、プラテン面およびプラテンカバーを拭いてください。
メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（ カッターライン ）などは特に汚れがたまりやすい場所です。
入念に清掃してください。

● 外装（ 取扱説明書 4 章「外装のお手入れ」）

使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってからふき取ってください。

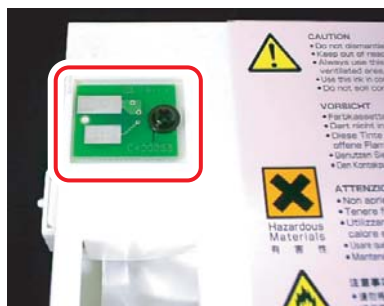
● 廃インクタンク（ 取扱説明書 4 章「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら ）

廃インクタンクが満杯になっていないか確認して、廃インクがあふれないように注意してください。

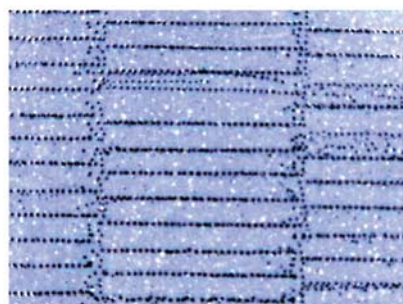
3. メディアの保管

メディアは、ほこりが付きにくく直射日光が当たらない場所に保管してください。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

4. インクカートリッジの保管

直射日光があたらず、湿度の高くない場所に保管してください。
精細な製品のため、カートリッジを落下させたりぶつけたりしないでください。
インクカートリッジに装着されている基板は、手で触れて汚したり、静電気放電させないでください。

インクカートリッジに装着されている基板

5. 画質不良の例

ホコリなどを原因として発生するヘッド（ノズル）の吐出不良が、プリントに及ぼす代表的な例を示します。
このような状態で使用しないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認してください。
ノズルの状態は、本機の「テストプリント」で確認できます。（取扱説明書 2 章「テストプリントをする」）

飛行曲がり　　ノズル抜け

ボタ落ち　　しぶき

6. ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間使用しなかった場合や環境温度によっては、ノズルの吐出が不安定になる場合があります。
この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。

1. 日ごろのお手入れ
   - 本書に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2. ヘッドクリーニング (ノーマル) をする 取扱説明書 2 章
   - 1 のお手入れを行った後、取扱説明書の手順に従ってヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い確認する（取扱説明書 2 章）

ノズル抜け等が改善しない場合

3. ヘッドクリーニング (ハード) をする 取扱説明書 2 章
   - 数回ノーマルクリーニングを繰り返してもノズル抜けがなくならない場合、クリーニングモードをハードに設定して、再度ヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い確認する（取扱説明書 2 章）

ノズル抜け等が改善しない場合

4. ヘッドノズルの洗浄をする 取扱説明書 4 章
   - ヘッドノズルの洗浄をしてください。
     このとき、メンテナンス洗浄液の放置時間は [1 分] にします。

→ テストプリントを行い確認する（取扱説明書 2 章）

ノズル抜け等が改善しない場合

5. 再度、ヘッドノズルの洗浄をする 取扱説明書 4 章
   - メンテナンス洗浄液の放置時間を [10 分] にして、再度、ヘッドノズルの洗浄をしてください。

→ テストプリントを行い確認する（取扱説明書 2 章）

**以上の操作をしてもノズル抜けが回復しない場合には、
弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。**

7. 長期間使用しない場合（取扱説明書 4 章）

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

8. サプライ品のご案内

- ワイパーキット 400 (品番 : SPA-0184)
- C 吸収材 (品番 : SPA-0185)
- ラテックスインクをお使いの場合:メンテナンス洗浄液 LX キット
  (品番 : ML001-Z-K1)
- 廃インクタンク 2 リットル (品番 : SPA-0117)
- カッター刃 (品番 : SPA-0107)
- ヘッド周辺用クリーンスティック 50 入 (品番 : SPC-0527)
- W フィルタキット (品番 : SPA-0187)
- キムワイプ S-200 (品番 : SPA-0207)